

令和4年度 評価規準

江戸川区立篠崎中学校

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 私が「私」であるということ	13	○言葉の中の春を読む。 ○文章の種類を踏まえ、その展開仕方に着目して、筆者の個性的な考えを捉える。 ○文章の種類と特徴について理解を深める。 ○知識や経験と結びつけて文章を読み、内容を評価する。 ○言葉の意味を把握し、具体的なできごとを考える。 ○読書が自分と社会との関わりを支えている、ということを理解する。 ○文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評する。 ○作品を読み、人間、社会などについて思いを巡らせ、自分の意見をもつ。	○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	○「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 ○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ○「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	○すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 ○積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。 ○粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。

令和4年度 評価規準

二 写真からは「美しく撮る」という明確な意志が感じられた	10	●目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 ●社会生活の中から自分で課題を見つけ、主張をまとめる。 ●自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成を工夫する。 ●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。 ●新聞を構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●社説を比較して読み、内容の特徴を理解する。 ●漢字の音の歴史についての理解を深める。 ●助詞のはたらきについて理解する。	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 助詞のはたらきについて理解している。	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。	積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見通しをもって主張しようとしている。 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。
-------------------------------------	-----------	--	--	--	--

三 人工知能の進化によって、 そのような「知性」観の見直しが 迫られている	12	●「哲学」など、筆者のあげている 言葉の内容を捉える。 ●事例や主張が適切かを考えなが ら読む。 ●文章の内容について検討した り、吟味したりしながら筆者のもの の見方や考え方を捉え、自分の考 えを述べる。 ●具体的な事例をもとに一般的な 特徴を導く。 ●読み手に説明するために構成を 工夫する。 ●熟字訓についての理解を深め る。 ●和語・漢語・外来語について理 解し、効果的に使い分ける。	○理解したり表現したりするために 必要な語句の量を増し、語感を磨 き語彙を豊かにしている。 ○文章の種類とその特徴について 理解を深めている。 ○具体と抽象など情報と情報との 関係について理解を深めている。 ○理解したり表現したりするために 必要な語句の量を増し、文章の中 で使うことをとおして、語感を磨き語 彙を豊かにしている。 ○情報の信頼性の確かめ方を理 解し使っている。 ○第2学年までに学習した常用漢 字に加え、その他の常用漢字の大 体を読んでいる。また、学年別漢字 配当表に示されている漢字につい て、文や文章の中で使い慣れている。 ○理解したり表現したりするために 必要な語句の量を増し、和語、漢 語、外来語などを使い分けることを とおして、語感を磨き語彙を豊かに している。 ○時間の経過による言葉の変化や 世代による言葉の違いについて理 解している。	○「読むこと」において、文章の種 類を踏まえて、論理の展開の仕方 などを捉えている。 ○「読むこと」において、文章を批 判的に読みながら、文章に表れて いるものの見方や考え方について 考えている。 ○「読むこと」において、文章を読 んで考えを広げたり深めたりして、 人間、社会、自然などについて、自 分の意見をもっている。 ○「書くこと」において、目的や意図 に応じて、社会生活の中から題材 を決め、集めた材料の客観性や信 頼性を確認し、伝えたいことを明確 にしている。 ○「書くこと」において、文章の種類 を選択し、多様な読み手を説得で きるように論理の展開などを考え て、文章の構成を工夫している。	○粘り強く自分の考えがわかりやす く伝わる文章になるように工夫し、 学習課題にそって批評する文章を 書こうとしている。 ○積極的に文章の種類を選択し、 学習の見通しをもって発表のため の資料を作成しようとしている。 ○粘り強く学年別配当表に示され ている漢字を書き、今までの学習を 生かして文章の中で使おうとしてい る。 ○粘り強く単語のはたらきや文の成 分を理解し、学習課題にそって文 章を読む際の生かし方を考えようと している。
--	-----------	---	---	--	---

四 このピアノは、自然が調律した元の形に戻ろうとしたのだ	17	●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ●事例と主張とを関係づけて読む。 ●文章を比べ、評価しながら読む。 ●文章を読み、社会や他者との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ●資料を比較して、自分の考えを整理する。 ●伝えたいことを明らかにし、説得力のある文章を書く。 ●助動詞のはたらきについて理解する。 ●場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。 ●ニュースを構成する情報について整理し、それぞれの効果について考える。 ●ニュースを構成する情報を、目的にそって効果的に使う。 ●実用文の特徴を理解し、社会生活の中で生かす。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 助動詞などのはたらきについて理解している。 敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。 文章の種類とその特徴について理解を深めている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。 粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。 積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。 粘り強く単語のはたらきや文の成分を理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。 粘り強く相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習の見通しをもってニュースの形式にまとめようとしている。 積極的に論理の展開を捉え、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。
-------------------------------------	-----------	--	---	--	--

令和4年度 評価規準

五 月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり	14	●情景や心情について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 ●歴史的背景に注意しながら読み、文章の特徴を理解する。 ●古人のものの見方や考え方について話し合い、自分の考えを深める。 ●和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう。 ●歴史的背景を踏まえて情景の描写を捉え、心情を理解して考えを深める。 ●詩の形式や表現の工夫などを理解して暗唱し、作品の響きを味わう。 ●わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 ●異字同訓についての理解を深める。 ●慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。	歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。	粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。 粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。 粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
----------------------------	----	--	---	--	--

六 地上の道のようなもの	16	●言葉の意味を掘り起こして読む。 ●表現上の工夫に注意して、暗唱する。 ●理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章のなかで意識的に使用する。 ●一人称の語り方について理解し、作品の表現の仕方を評価する。 ●「希望」について考え、人間、社会などについて自分の意見をもつ。 ●読み手を意識して、適切な言葉を選ぶ。 ●読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解する。 ●相手や場に適した言葉でスピーチをする。 ●場の状況に応じて、伝わりやすくなるよう表現の工夫をする。 ●四字熟語についての理解を深める。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 「読むこと」において、文章を読んだ考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。 積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって主張しようとしている。 粘り強く学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
--------------	----	---	--	--	---

令和4年度 評価規準

七 生命は、恒常的に見えて、 いずれも一回性の現象である	9	●持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。 ●相手の考えを評価しながら、自分の考えを広げ深める。 ●話し合いの進行の仕方を工夫して、合意形成を行う。 ●自分の文章の収集と整理をする。 ●学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。	粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。積極的に相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。積極的に今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。
---------------------------------	---	---	---	---	--

令和4年度 評価規準

八 人間というのは、どこまで いっても自分以外にはなれない ものだ	4	●自分の読書生活を振り返り、さま ざまな本や文章を読む。	理解したり表現したりするために必 要な語句の量を増し、話や文章の 中で使うことをとおして、語感を磨き 語彙を豊かにしている。 自分の生き方や社会との関わり方 を支える読書の意義と効用につい て理解している。	「読むこと」において、文章を読ん で考えを広げたり深めたりして、人 間、社会、自然などについて、自分 の意見をもっている。	粘り強く時間の経過による言葉の 変化や世代による言葉の違いにつ いて理解し、今までの学習を生かし て考えたことを説明しようとしてい る。 積極的に文章の種類とその特徴に ついて理解し、今までの学習を生 かして批評しようとしている。 すすんで表現の仕方について評 価し、学習課題にそって批評しよう としている。
書写	10	●行書の特徴について理解を深 め、筆使いに気をつけて書くことが できる。 ●行書で学習したことを、日常生活 に生かしていくことができる。 ●行書の特徴について理解を深 め、筆使いに気をつけて書くことが できる。 ●行書で学習したことを、日常生活 に生かしていくことができる。 ●これまでに身につけてきた書写 力を生かして、「卒業」をテーマに、 語句や文、表現形式を選んで卒業 の記念制作に取り組むことができ る。	○点画の変化と連続、次の文字へ の筆脈を理解している。 ○点画の連続や配列の書き方を理 解している。 ○点画の連続や配列の書き方を理 解して書いている。 ○身のまわりで見かける、文字の表 現効果について理解している。	○点画の変化と連続、次の文字へ の筆脈に関する筆使いを確かめ、 自己の課題を考えている。 ○点画の連続や配列の書き方を確 かめ、自己の課題を考えている。 ○身のまわりで見かける、文字の表 現効果について考えている。	○点画の変化と連続、次の文字へ の筆脈について、課題意識をもっ て取り組んでいる。 ○点画の連続や配列の書き方に 興味・関心をもって取り組んでい る。 ○身のまわりで見かける、文字の表 現効果に興味・関心をもっている。